

本日御議論いただきたい主な論点（第2回WG）

（1）収集データの活用のあり方 <第1回WGの積み残し>

- HER-SYSにより収集されるリアルタイムのデータを用いた集計・分析
- 自治体等が使いやすいデータ分析ツールの導入、実務面での改善（効率的・効果的な各種対策の遂行）
- 国、自治体等による集計・分析結果のフィードバックや情報提供のあり方
 - ✓ 本庁レベル・保健所レベルで必要な情報は何か。そのために、HER-SYSにより収集されるデータをどのように活用できるか。
 - ✓ 自治体等が活用しやすい分析ツールはどのようなものか。厚労省で基本的な分析方法を設計しつつ、自治体独自の視点で分析を行うことができる仕組みとすることを基本としてよいか。
 - ✓ 例えば、分析ツールを積極的に活用し、実務に活かしている自治体の好事例を横展開するなど、HER-SYSがより有効に活用されるような仕組みを構築することが考えられないか。

（2）感染症情報の収集・管理の仕組み・体制のあり方等

- 国、都道府県、保健所設置市・特別区の情報共有における課題等

（3）第1回WGで出された主な御意見について <資料1参照>

- システムの運用・改善
- データの精度管理の仕組みづくり
- 入力データの活用方策 <（1）と重複>